



↑ 風の強い日で、ポンプから出る水しぶきが自分に降りかかる中、団員らは日頃の訓練の成果を存分に発揮していました。

鹿角支部消防訓練大会

地域を守る消防団の力

7月2日、市役所駐車場で秋田県消防協会鹿角支部訓練大会が開催され、本市と小坂町の消防団員約1,000人が日頃の訓練の成果を競いました。

消防団員の士気や防災意識を高めるために開催されるこの大会では、消防団員のきびきびとした消火活動が披露され、訪れた市民からは大きな拍手や声援が送られました。

手や声援が送られました。

- (結果)
- 規律訓練
    - ①市第5分団 ②市第3分団 ③市第16分団
  - 小型ポンプ操法
    - ①町第4分団上川原班 ②市第15分団第1部 ③市第9分団第2部
  - ポンプ車操法
    - ①市第5分団第1部 ②市第9分団第1部 ③町第4分団万谷班
  - 総合
    - ①尾沢地区区団 ②八幡平地区区団 ③小坂町消防団



↑ 1 「わっしょい、わっしょい」と威勢のいいかけ声で町内を練り歩く「子ども樽みこし」 2 十和田小学校児童による「浦安の舞」 3 数十年ぶりに月山神社祭典で披露された「毛馬内ばやし」



月山神社例大祭  
活気あふれる毛馬内のまち

毛馬内総鎮守としてまつられている、月山神社の祭典が7月12日〜13日に開催されました。本殿で行われる例大祭では、児童4人が美しく舞う神楽「浦安の舞」が奉納されました。また、子どもたちが法被を身にまとい、各町内ごとに趣向を凝らした樽みこしを担いで歩く「子ども樽みこし」では、「わっしょい、わっしょい」

と元気な掛け声が毛馬内のまちを盛り上げました。12日の夜には、かつて例大祭の時に奉納していた「毛馬内ばやし」が、数十年ぶりに地元有志により披露されました。13日には地域の平安を願う獅子舞が舞う「川原大神楽」などが行われるなど、今年も地域の活気あふれる祭りとなりました。

花輪祭の屋台行事  
ユネスコ登録記念切手を販売

7月3日に、小松大太郎秋田県北部地区連絡会統括局長と、斉藤雄高花輪郵便局長が市長室を訪れ、花輪ばやし10町内の屋台が描かれたユネスコ登録記念切手を贈呈しました。

今年には郵便局の民営化から10年の節目の年で、ユネスコ登録と時期が重なったことから記念切手の販売となりました。児玉市長は「10町内の屋台がすべて切手になってい

て、市民も喜ぶと思う。一人でも多くの方に足を運んでいただくきっかけになってほしい」と、花輪ばやしがあります盛り上がることを期待していました。



↑ 写真右から、小松大太郎秋田県北部地区連絡会統括局長、斉藤雄高花輪郵便局長、児玉市長、戸澤正英花輪ばやし祭典委員会会長

湯瀬神明社先祓舞  
伝統の舞 湯瀬温泉郷を彩る

湯瀬地域に大正時代から伝わりとされている市の無形民俗文化財「湯瀬神明社先祓舞」が7月15日〜16日に行われました。先祓とは神輿の先導にあたり祓いを行うことの意味で、15日夕方から始まった宵宮では、神明社の境内で、袖に鈴を付けた衣装でさらびやかに着飾った踊り手が輪になり、太鼓や笛の音に合

わせ伝統の舞を披露し、迫力のある動きで境内に集まった観客を魅了しました。16日、先祓舞の一行は湯瀬温泉内を巡りました。この日は大雨となりあいにくの天気でしたが、華麗な舞は湯瀬温泉郷を彩り、地域の方々には傘をさしながらご神体の巡行を見守っていました。



↑ 踊り手たちは太鼓や笛の軽妙な音楽に合わせて、境内を囲み華麗に舞いました。



↑ 十和田高校生徒会長の中村康平さんが、内閣総理大臣からのメッセージを読み上げ、更生保護活動への理解を呼びかけました。

運動を明るくする  
市民集会  
犯罪のない社会を目指して

犯罪や非行の防止、罪を犯した人の更生保護について理解を深める全国的な運

動である「社会を明るくする運動」の市民集会が、7月8日、文化の社交流館コモッセで開催されました。秋田被害者支援センターの佐々木桂子相談員が講演を行い、「犯罪にあった人の心は、くしゃくしゃに丸められた紙のように、いくら伸ばしてもたくさんの傷が残る」と語りかけた言葉は、参加者の心に響きました。